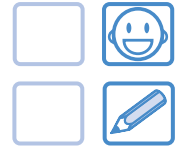


8-1

じ しょ けい 辞書形の練習



活動

じ しょ けい かくにん おぼ
辞書形を確認し、覚えるための
ゲームをする。

かたち



時間

(1)
(2)

せつめい編

活-03 V 辞書形

談話の技術

準備するもの

どうし え
動詞の絵カード

使うことば

あつ 集める、とる、折る、働く、会う、泊まる*、
の りょこう (乗る) (旅行する) (行く) (来る)
ね か み よ き (寝る) (書く) (見る) (読む) (聞く)
うた た およ つく (歌う) (食べる) (泳ぐ) (作る)
か の かえ おし (買う) (飲む) (帰る) (教える)
か お はい で (貸す) (降りる) (入る) (出る)
すわ た あ し (わたる) (座る) (立つ) (開ける) (閉
める) (使う) (話す) 写真、折り紙

手 順

(1) クラスの練習

1. 教師は、学習者に動詞の絵カードを見せたり、ジェスチャーをしたりしてキューを出す。
2. 学習者は、教師の示した動詞の「ます形」と辞書形を言う。

(2) ×ゲーム

1. 学習者はペアになって、2人で5×5のます目のシートを1枚作る。
2. 学習者は1つのます目に、1つの動詞を「ます形」で書く。25のます目をうめる。
3. 各ペアで をかく人、×をかく人を決める。
4. 1人ずつ動詞の辞書形を言って、聞いた動詞の「ます形」に3で決めた と×をつける。たて、横、ななめ、どれでも自分のマークが5つ並んだ方が勝ち。

バリエーション

(1) <手順> (2) のバリエーション

クラスを2つに分けて、×ゲームをする。

(2) その他の辞書形の練習

<バリエーションの手順>

1. 学習者は、今までに学習した動詞を順番に「ます形」で言う。

2. 教師は学習者の言った動詞を黒板に書く。

3. 学習者は前の人^が言った動詞^の辞書形

を^い言^{つぎ}って、次^{ひと}の^{もんだい}人の問題として「ます形」を^い言^いう。

例) 教師：行きます

A：行く、食べます

B：食べる、飲みます

C：飲む、話します……

先生へ

- 『日本語教育通信 18号』の「授業のヒント」(1994年2月)に×ゲームのくわしい説明とそのほかの動詞の活用練習がある。